

厚木連合戸陵会だより

(株)パイオニア・マネジメント

経営コンサルタント 小島 條太郎 (高21回)
MBA

〒243-0003 厚木市寿町2丁目1番8-501号

PC address mrjo@mrjo.jp Mobile 090-3228-2886

厚木連合戸陵会だより ●発行=県立厚木高校同窓会(厚木連合戸陵会) ●発行責任者=杉田泰繁 ●編集責任者=城所春彦

平成26年度通常総会開催

新体制で更なる絆を求めて

厚木連合戸陵会

平成26年度通常総会は去る7月20日(日)、飯山元湯旅館に於いて、51名が参加。来賓として曾根秀敏厚高同窓会長(高14回)をはじめ多くの近隣戸陵会の役員の方々にご臨席をいただき、盛会に行われました。

総会に先立ち、物故者への黙祷が捧げられた後、下川信好副会長(高14回)のユーモアあふれる開会の辞で始まり、石射隆(森久保幹事長より)の中で、

1号議案：25年度活動報告
算(足立原会計より)
5号議案：改選に伴う役員選

2号議案：平成25年度収支決算報告及び会計監査報告(足立原会計、足立会計監査より)
3号議案：平成26年度活動計画(平野事務局長より)
4号議案：平成26年度収支予算(足立原会計より)



杉田泰繁会長以下新しい役員体制がスタート



満90歳「卒寿」の小島菊代先生(中36回)に教え子より花束が贈られた

各支部の自主性を尊重し 明るく楽しい連合運営を

厚木連合戸陵会会長 杉田 泰繁(高14回)

本年度役員改選期にあたり、各支部選考委員の皆様のご推挙をいただき、7月20日の総会において、石射隆会長(高14回)曾根秀敏新会長(高14回)がスタートしています。

長を拝命いたしました。厚木市内8支部のまとめ役として設立された厚木連合戸陵会(連合及び同窓会本部)と12年を経過し、今年各支部の連携をしっかりとって、明るく楽しい連合運営を心がけてまいります。

各支部の自主性を尊重し、各支部の個性を大切にしながら、連合の会長就任にあたり、各支部の自主性を重んじながら、

各支部の個性を大切にしながら、連合の会長就任にあたり、各支部の自主性を重んじながら、



出(平野事務局長より)

1号議案から5号議案まで、満場一致で原案どおり可決されました。議事終了後、杉田新会長から新役員のご紹介とあいさつがあり、その後、曾根秀敏厚高同窓会長から挨拶があり、都高副会長の閉会の辞で平成26年度通常総会が終了いたしました。

通常総会終了後、懇親会が開かれ、曾根同窓会長、佐藤信行厚木高校校長、近藤俊二同窓会会長、小島菊代同窓会元副会長、梅澤行次、神崎英男両前顧問をはじめ近隣戸陵会の役員さん方の紹介があり、石川前同窓会長、佐藤信行厚木高校校長よりご挨拶をいただきました。

佐藤信行校長

厚木高校では今、昨年度から文部科学省の指定を受けた「スーパーサイエンスハイスクールⅡSSH」の取組を通して、将来世界で活躍できる人材を育成するとともに、時代の要請にこたえるべく、厚木高校の新たな可能性にチャレンジしています。

この指定を受けて2年目となる今年度は、全国的に展開されている模擬試験の結果においても、理数科目の成績が伸びてきています。

これからも厚木高校の発展のために、職員一同、一層の努力を重ねてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

厚木連合戸陵会役員 平成26～28年度

会長	杉田 泰繁 (高14)	睦合戸陵会
副会長	足立原 強 (高16)	厚木戸陵会
副会長	都高 泉 (高17)	依知戸陵会
副会長	下川 信好 (高14)	睦合戸陵会
副会長	三原 明彦 (高14)	荻野戸陵会
副会長	伊藤 桂 (高16)	小鮎戸陵会
副会長	神崎 愷 (高13)	南毛戸陵会
副会長	高橋 増次 (高11)	玉川・森の里戸陵会
副会長	高橋 将 (高14)	相川戸陵会
幹事長	森久保純生 (高16)	小鮎戸陵会
事務局長	平野 亮二 (高27)	睦合戸陵会
会計	二見 政宏 (高16)	相川戸陵会
会計	藤野 心 (高34)	厚木戸陵会
会計監査	志村 昂二 (高15)	小鮎戸陵会
会計監査	足立 一彦 (高17)	睦合戸陵会
顧問	石川 範義 (高10)	小鮎戸陵会
顧問	難波 浩 (高11)	睦合戸陵会

広報委員会 平成26～28年度

委員長	城所 春彦 (高17)	睦合戸陵会
副委員長	三橋 敬司 (高18)	玉川・森の里戸陵会
副委員長	池田 清 (高19)	厚木戸陵会
会計	小島 聡 (高33)	南毛戸陵会
委員	大塚 定男 (高20)	依知戸陵会
委員	三橋 祐二 (高16)	荻野戸陵会
委員	白井 志信 (高30)	小鮎戸陵会
委員	毛利 澄夫 (高20)	相川戸陵会

ゴルフ委員会 平成26～28年度

委員長	中山 和男 (高26)	睦合戸陵会
副委員長	大貫 亨 (高17)	南毛戸陵会
副委員長	林 貢 (高11)	依知戸陵会
会計	黄金井哲也 (高18)	玉川・森の里戸陵会
委員	上原 誠 (高20)	厚木戸陵会
委員	土屋 忠之 (高22)	荻野戸陵会
委員	頼住 久男 (高22)	小鮎戸陵会
委員	小塩 恒夫 (高20)	相川戸陵会

昭和35年創業老舗の味

厚木名物「肉の田口」とん漬は、産地直送の上質な肉だけを使用した、当店自慢の特製味噌に一炊いちまい職人の手で丹精込めて漬けた人自慢の逸品です。

たぎね木があるお肉屋さん

株式会社 **肉の田口**

代表取締役社長 田口 幸一 (高29回)
専務取締役 田口 孝男 (高30回)

厚木市水引1-15-12 (市立病院バス停そば)
年中無休/営業時間 AM9:30~PM7:00

☎0120-298639 FAX 046-221-5586
URL http://www.nikunotaguchi.com

炭火焼 ホルモン カルビ焼 **焼肉の田口**

飯山店 厚木市飯山1093-4 ☎046-242-1529
厚名店 厚木市厚名2-6-5 ☎046-244-5629
下今泉店 海老名市下今泉3-1-3 ☎046-206-4970

お陰様で優良法人(受)
県、市、優良施工店賞受賞
神奈川県建設業労働災害防止優良企業賞受賞

住まいの快適

リホーム 増減築

株式会社 **小林リビング**

代表取締役社長 小林知弥 (高8回)

厚木市山際570 (R129山際交差点際) ☎046-245-3261

望みが沸き、趣きに親しむ、
かくれ里の隠れた魅力。

あつぎ飯山温泉

もとゆ **元湯旅館**

代表取締役 石川範義 (高10回)

神奈川厚木市飯山4916
TEL.046-242-0008(代) FAX.046-241-8975
●東京案内TEL.03-3207-0008 ●URL http://www.motoyu.co.jp/

地元の小学生に農業を教える

佐藤忠男氏(高10回)にインタビュー

佐藤忠男氏は、会社を定年退職後、農業経営にあたってこられた。平成15年から10年間は、玉川小学校の農業の先生として子供たちに暮れ、インタビュの翌日には、「1・2年生とホウレンソウの種まきをするんだ。」と嬉しそうに話してしました。



教室での授業風景



田植えの体験学習も

て教科の学習だけでは得られない様々なことを学んでいる。

体験型農園が本格始動

小鮎戸陵会前会長の志村 昂二氏(高15回)



志村 昂二氏

佐藤氏は、子供たちに「農業の大切さ、農業を行うことは環境を守ることに通じる、ということを経験を通して感じ取らせたいという思いで日々子供たちに接している」とのことです。また、種まき、収穫の体験だけではなく、できるだけ除草など一連の作業も体験させ、その中で「次の作業のことを考えて、今の作業をすることの大切さ」に気づかせたい、と話していただきました。佐藤氏のお宅には、子供たちからのお礼の手紙や写真などがたくさん保管され、子供たちの姿がとて印象的でした。

都内の有名百貨店を数年前に定年退職され、自治会長、小鮎戸陵会会長などを歴任され地域の活性化のためご尽力されている志村さんの地元での活躍を紹介する。

一年前、土日になると早朝から志村さんの畑に大勢の人が集まって来て、何が始まったのかと尋ねると、「体験型農園だよ。お前さんもやってみないか?」と誘われたことを覚えている。「体験型農園」とは、一区画30㎡の土地に年間20種類の新野菜を作る農園のことを言う。農機具、肥料、種苗などは、すべて農園側が用意し、参加する会員さんは、きめられた場所に作物を栽培する(連作防止等)。この事業は、平成25年度農林水産省「農」ある暮らしづくりの推進支援を受け、厚木市農業政策課の支援も受けている。



野菜作りは初めてという人も多い

そして、オープン後の苦労や様子について伺いました。「昨年5月に20区画で仮オープンし、最初会員さんの中には、農機具を一切持たなかった人が、人もいて指導も戸惑いましたが、日に日に学ばれ、作った野菜を持ち帰り、お子さんやお孫さんが、今まで食べなかった野菜を

シリーズ 地域で活躍する同窓生

自宅の庭は地域の子供広場

初代荻野戸陵会会長の神崎 英男氏(高9回)



神崎 英男氏

神崎家は幕末から明治にかけてこの地の地主・里長を務め、土地所有の面でも上荻野では、2を争う程の豪農地主であった。正蔵氏は青年期に民権運動に挺身し、後には荻野村村長も務め

神崎家の門に近づくと、庭には元氣よく遊び回る大勢の子供たちの歓声があり、その親と思われる数人の大人の姿も混じる。ここは子供たちの自由な遊び場。その親たちの歓談の場として自宅の広い庭が解放されている。立ち寄らせて頂き話を伺った。



広い自宅の庭を地域住民に解放

この立派な門構えのお宅、由緒ある家系の中で、曾祖父に当たる正蔵氏がこの地の民権運動に係わられた歴史等、大変興味深いものであった。

現在、神崎邸に所蔵されている銅版画の屋敷絵図で、当時の800坪にもおよぶ広大な屋敷跡、豪農民権家の富と生活ぶりを偲ぶこともできる。話を伺いながらも、庭先ではしゃぐ子供たちを優しく見つめる氏と奥様の嬉しそうなお様子が印象的でした。今は庭の池の水も抜き安全な遊び場として提供すると同時に、地域の子供のしつけ役も担われている。氏は地域の諸役を引き受けられ、また奥様も昨年までの6年間地域の民主委員を務められる等、夫婦揃って地域のオピニオンリーダー・お世話役として活躍されている。

平成10年、障害者地域作業所白根工房を開所いたしました。場所は市内表田北。父が経営する20坪ばかりのガラス工場を改装した小さな事業所です。大学卒業後、市内の公立中学に教員として勤務した後半は個別支援学級を担当。その中で、彼らが成人した後、楽しく働ける場所、地域作業所を作りたいと思ひ、退職して事業を立ち上げ



利用者の「地域で生きる」を目指す白根工房

地域活動支援センター「白根工房」

永井 明(高15回)



ました。当初10名だった利用者さんは現在50名。障害者自立支援法の施行により平成23年度に法人事業である地域活動支援センター「白根工房」と改名しました。障害者施策は目まぐるしく変化し事業所運営は苦労が絶えません。しかし、特に昨年の障害者権利条約への批准等、権利擁護は大きく前進しています。原

点「地域で生きる」。その理念は地域作業所にあると思ひます。福祉先進県といわれた神奈川県、星の数ほど作業所を！と地域のなかで大きく発展してきました。法整備が整う中で、利用者の

方々の生活も変化が出てきており、特に当事者や親御さんの高齢化は大きな課題です。そんな中、小規模事業所ならではの良い面を活かし、地域の方々のご理解やご協力をいただきながら、皆さんの気持ちあふれる事業所を目指していこうと思ひます。睦合戸陵会の皆様のお力添えに心より感謝を申し上げます。

内科・循環器内科
心療内科

厚木ハートケア
クリニック

http://www.atsugi-heartcare.com

院長 循環器専門医
伴野富佐子(旧姓・難波)
(高37回)

〒243-0203
厚木市下荻野1476-1ソルローマ本厚木1F
TEL 046-243-5533 FAX 046-243-5503

高橋歯科医院

院長 高橋 庸(高26回)

〒243-0201 厚木市上荻野250-3
(みはる野入口 信号そば)

TEL 046-241-8851

サンパートナーズ
グループ

●税理士法人
サンパートナーズオフィス
税理士 新川 勉(高30回)
平野 社司
吉田 歌純(高37回)

●サンパートナーズオフィス
社会保険労務士事務所
社会保険労務士 森田 静江
☎ 046-226-5677

●サンパートナーズオフィス
行政書士事務所
行政書士 平野 社司
☎ 046-226-9980

●有限会社 サン不動産
代表取締役 新川 正春
☎ 046-226-7017

〒243-0014 厚木市旭町1-22-8 FMビル1F

支部二コース

《小鮎戸陵会》

会長・伊藤桂(高16回)

昭和43年芝浦工業大学工業化学科卒業後約20年間自動車部品の開発製造に携わり、心境の変化から宅建の資格を取り、建設不動産の業界に身を置くことになりました。平成元年大東建設(株)所沢支店長を拝命後、金沢支店長、宇都宮支店長、京阪神大東建設(株)社長、南関東大東建設(株)社長等を行い60歳で定年退職後現在に至っています。40歳から定年まで単身赴任でしたので得るものも多かったが失うものも同時に多かったと感じています。特に妻や子供たちに苦勞をさせたと思っています。

今回、小鮎戸陵会志村会長の後を受け、小鮎戸陵会3代目の会長職を拝命することに成りました。先代は、石川範義会長、志村昂二会長と立派な方ばかり

今後はこの2本柱を更に大きくすることを中心に若い会員を増やす努力をしていきたいと考えています。

これからも小鮎戸陵会に御支援・ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

《荻野戸陵会》

平成25年度総会ならびに懇親会が6月1日会員20余名の出席のもと石川同窓会長にもご臨席いただき開催された。

総会は花上肇会長(高11回)より25年度の活動概況等について報告があり、引き続き平成26年・28年度の新役員体制が報告・承認された。そのあと、三平明彦新会長(高14回)より就任の挨拶があり、総会は終了しました。

懇親会は神崎相談役の乾杯で始まり、酒を酌み交わしながら懇親を深め、最後に全員の校歌斉唱でお開きになりました。

《玉川・森の里戸陵会》

今年、年度当初の4月5日(日)に、「玉川を遡る」ハイキング、引き続き広沢寺温泉「玉翠楼」にて定期総会・懇親会を開催しました。「玉川を遡る」には、南毛利戸陵会会長の神崎愷氏の参加を得て13名で実施しました。

当日は、午前10時に小野神社に集合し、玉川に沿って地域の歴史を訪ねながら上流に向かってハイキングをしました。まさに、「川の流れと郷土史の流れを遡る」という企画でした。「玉川を遡る」は、昨年度玉川公民館文化振興会とまとめられた小冊子をテキストに、郷土史に造詣の深い前玉川公民館館長の山口義章氏(高15回)による解説を聞きながら春の一日を充分に楽しみました。終了後、「玉翠楼」での懇親会におけるビールのお味は言うまでもありません。

第9代会長に曾根秀敏氏(高14回)

平成26年度同窓会通常総会で承認

6月21日、厚木商工会議所に於いて平成26年度厚木高校同窓会通常総会が開催されました。杉田泰繁副会長(高14回)の挨拶の言葉に続いて、石川範義氏(高10回)が挨拶。

同窓会長(高10回)が挨拶。今総会で3年の任期を終える石川会長は在任中110周年記念事業の実施、応援組織の復活(応援委員会として発足)、女性による同窓会組織(さくら戸陵会)の設立など多くの功績を残されました。

総会の議長に厚木戸陵会の足立原強会長(高16回)が選ばれ、各種議案審議が満場一致で可決。この内、役員選挙委員会久崎教生委員長(高14回)の報告・提案による新役員が承認されました。総会後、徳間書店社長の平野健一氏(高25回)が、「デジタル時代の出版物」と題して講演されました。



曾根新会長

同窓会長(高10回)が挨拶。今総会で3年の任期を終える石川会長は在任中110周年記念事業の実施、応援組織の復活(応援委員会として発足)、女性による同窓会組織(さくら戸陵会)の設立など多くの功績を残されました。

平野社長

あっぱれ!! 厚高野球部

17年ぶりのベスト16入りへ

第96回全国高校野球選手権神奈川大会は7月12日に全国最多の190校が参加して開催。厚高は1回戦が星槎国際湘南に8対1で7回コールド勝ち。2回戦は甲子園出場経験のある強豪日大藤沢に逆転につく逆転

で10対8で勝利。3回戦は相模原中等に8対7で逆転勝ち。4回戦は市ヶ尾に11対4で8回コールド勝ち。17年ぶりに5回戦進出を決めたが、5回戦は橘学苑に2対6で敗退しました。

第9回校歌祭にご参加を

懇親会はレインプラント

ホテル厚木にて

10月12日、よこすか芸術劇場大ホールで開催される「第9回青春かながわ校歌祭」には、厚高をはじめ26校の県立高校が出演します。

厚高の出番は17番目、2時41分から7分間。「校歌」と「第二応援歌」「健児は起り」の3曲を吹奏楽部OBの伴奏に合わせ、応援団OBと今春復活した応援委員会の現役生による指揮でステージを盛り上げます。

各戸陵会支部の事務局に申し込んで下さい。

寄稿 小島菊代先輩の卒寿を祝う

南毛利戸陵会会長 神崎愷(高13回)

厚木高校を卒業後、私は横浜 国立大学工学部電気化学科に入



写真は横浜国大工学部を象徴する「名教自然」の碑で、三無主義教育(無試験、無採点、無賞罰)を実践された鈴木達治初代校長を記念して建てられたもの

じ学科の先輩であることを知り、以後お顔を会わせるたびに真っ先の「おい神崎」を声かけていた。だくようになりました。7月24日、横浜スタジアムへ厚高野球の応援に行ったとき、正に卒寿その日である小島先生もきておられ、かくしゃくとした姿で応援されていました。

話しは変わりますが、写真は筆者が横浜国立大学へ入学したとき、弘明寺キャンパス正面広場で撮った写真です。後に中段最左端の先生(高橋正雄・現希望ヶ丘高校卒)の研究室に入り、以後筆者にとっては生涯の指導者の存在であった方です。

同じ電気化学の分野では日本

Advertisement for Cafe Jardin, including contact info and location details.

Advertisement for Ryuden Shoten (内田屋書房), a bookstore, including contact info and address.

Advertisement for Gyokusuiro (玉翠楼), a ryokan, including contact info and services.

Advertisement for Cafe Jardin, featuring a menu and contact information.

Advertisement for Ryuden Shoten, highlighting their book collection and services.

Advertisement for Gyokusuiro, showcasing their traditional Japanese accommodation.